

生協連会報

2023

9

<活動報告>

「子どもたちに平和な未来を2023」 開催報告 2

第2回地域・まちづくり委員会開催報告 4

食・消費者委員会 横浜検疫所 輸入食品・検疫検査センター見学会報告 6

<ウクライナからの避難者支援プロジェクト>

第12回「お茶しませんか」開催報告 8

<関連団体>

2023年度幹事総会学習会「電気料金の仕組みから電力エネルギーについて考える」... 9

No.521



千葉県生協連の主な活動予定 2022.9~2022.11

9月			10月			11月		
日	曜		日	曜		日	曜	
1	金		1	日		1	水	
2	土	九都県市防災訓練	2	月	MCA無線通信訓練	2	木	サポちば理事会
3	日		3	火		3	金	
4	月		4	水	第3回地域・まちづくり委員会	4	土	
5	火	MCA無線通信訓練	5	木		5	日	
6	水		6	金		6	月	
7	木	広報担当者消費者行政連絡会 /サポちば理事会	7	土		7	火	MCA無線通信訓練
8	金	第2回大規模災害対策協議会	8	日		8	水	
9	土		9	月		9	木	
10	日		10	火		10	金	
11	月		11	水		11	土	4都県生協連共催企画講演会
12	火		12	木	職域生協部会	12	日	
13	水		13	金		13	月	
14	木		14	土	エコメッセ	14	火	消団連見学
15	金		15	日	エコメッセ	15	水	
16	土		16	月		16	木	環境生活部との懇談会/第4回 理事会
17	日		17	火		17	金	
18	月		18	水		18	土	
19	火		19	木	政策検討会	19	日	
20	水		20	金		20	月	
21	木	第3回理事会/地域生協部会	21	土		21	火	
22	金		22	日		22	水	
23	土		23	月		23	木	
24	日		24	火	第2回監事会	24	金	
25	月		25	水		25	土	「なくそう！子どもの事故」 学習会
26	火		26	木		26	日	
27	水		27	金	中央地連関東甲信越行政生協 関係者連絡会	27	月	
28	木		28	土		28	火	
29	金		29	日		29	水	
30	土		30	月	千葉県消費者行政審議会	30	木	大規模災害対策協議会
			31	火				

「子どもたちに平和な未来を 2023」開催報告

16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナシップで
世界をも変えよう



日 時：2023年8月5日（土）10：30～12：30

会 場：コーププラザ千葉

参加対象：小学4年生～6年生の生協組合員のお子さん

参 加 者：小学生 26名 学生ボランティア 11名

「子どもたちに平和な未来を」は千葉県生協連が事務局となり、千葉県内の4つの地域生協（パルシステム千葉・コープみらい・生活クラブ・なのはな生協）による実行委員会形式で開催され、子どもたちに「平和の大切さ」と「核兵器の廃絶」を訴える取り組みを毎年おこなっています。

今年「ぼくはジェーニャ11歳 一緒に平和の事を考えよう！」と題して開催されました。講師は、ロシアによるウクライナ侵攻のため、2022年3月に、母、祖母の3人でウクライナから避難し、現在千葉市内の小学校に通う6年生のパンコーフ エブゲン（愛称：ジェーニャ）君です。

はじめに高橋実行委員長（パルシステム千葉理事長）が、本企画の主旨について説明をおこないました。



高橋実行委員長



話をするジェーニャ君

講演会ではジェーニャ君が作成した、「ウクライナについて」という資料をもとに話を進めました。ウクライナの位置や国旗の色、郷土料理や民族衣装、住んでいたキーウのまちなど、説明がありました。次に日本とウクライナの学校の違いについて比較しながら話があり、参加者からはウクライナの学校が羨ましいという声があがりました。そして、ロシアによる軍事侵攻は始まってからの地下室での家族との避難生活や、国外へ避難する様子や日本に到着してからの生活など、写真や現地で撮影したビデオなど観ながら話してくれました。

ジェーニャ君の話を聞いて感じたこと思ったこと（アンケートより）

・地下室ではやることなく自分なら1日で限界。戦争って辛いことだ。・ウクライナは戦争前はとてもいい国だと思った。ひまわりや小麦畑がとてもきれい。プーチンさんはなんで戦争をしたの？・ジェーニャ君はウクライナにいた時、とても大変だったと思う。ビデオで地下室に住んでいたのはびっくりした。・ウクライナの学校は日本に比べてルールが少なくいいな。・学校や幼稚園を攻撃するのはダメだと思った。・戦争で、同じ人間をなぜ殺し合うの？・戦争は他人事だと思ってたけど、戦争の中生活していた人が話をしてくれて「平和って大切!」と思った。・1年前は、この戦争が僕たちには関係ないから何にもしなくていいやと思ってたけど、ジェーニャ君が話したことを聞いてジェーニャ君はすごいと思った。・一緒に地下室にいた子どもも助かってほしい。・戦争はひどい。戦争はこわい。・実際にどのようにして日本に来たのか知ることができた。動画や写真で避難生活が大変なのが伝わった。早く平和な世界になるといいなと思った。・ウクライナの事はニュースで少し見るくらいだったけど、ニュースではわからない事がたくさん知れてよかった。・戦争は本当にやってはいけない。みんなの平和を守れないので戦争はやめてほしい。

○グループワークでは、ボランティアの学生と一緒に、ジェーニャ君の話を聞いて感じたことや平和について考えたことを話し合い、またウクライナカラーのミサンガやハート型の入れ物などを作りました。

○平和だと思うときって？

- みんながつかつかたり助けあったりしたとき。
- みんなが楽しくうれしいとき
- 学校の昼休み、みんなで遊んでいるとき
- お菓子とかゲームができてるとき
- 親や先生が話をしないとき

○誰かに伝えたいと思ったことはありますか？

- お友達に戦争はよくないって伝えたい。お友達が大人になっても伝えたい。
- 戦争は絶対によくないと教えたい。戦争ごっこもやらない方がいいと教えたい
- ウクライナの戦争で地下室に逃げていたこと
- 日本の学校とのちがい

○平和のためにできることは？

- 1つだけの国にして大統領を1人にする
- ほかの人の意見を理解する
- 寄付や募金

○その他

- ジェーニャ君と直接話ができなくて楽しかった
- お姉さんとお話ができ楽しかった
- ミサンガ作りが楽しかった。

グループワークの様子



最後にジェーニャ君のお母さんのオルガさんから、「ロシアによる軍事侵攻は、8月24日で1年半になりますが、ウクライナでは多くの一般の人が巻き込まれ傷ついています。またウクライナ以外でも世界ではテロや戦争が起こっています。戦争が続くことは君たちの将来の世界を脅かすことになるかもしれません。だからこそ、世界で起こっていることに興味を持ち、平和のために何ができるかを考え続けていってください。また自分だけでなく、世界中の人々が幸せに暮らせることを願ってほしいです。」とメッセージがありました。



**タチアナさん(祖母) ジェーニャ君 オルガさん
参加者、学生ボランティアのみなさん**

第2回地域・まちづくり委員会委員会開催報告



日 時：2023年8月7日（月）13：30～15：30

開催方法：対面とZoomを活用したハイブリッド形式

出 席：宮本・丸岡（パルシステム千葉）、佐々木・篠原（コープみらい）、
藤原・柴山（生活クラブ）、今野（なのはな）
尼崎・竹内（生協連） 小林・堀越（日本生協連）

敬称略

内 容

新しい委員メンバーとなつての委員会となるため、はじめに、生協連の尼崎専務理事より、地域・まちづくり委員会の趣旨についての説明があり、その後、出席委員による自己紹介をおこないました。



1. 各会員生協の助成金について

パルシステム千葉・コープみらい・生活クラブの3生協がおこなっている地域活動支援の一つである助成金について説明をしてもらいました。

○「パルシステム千葉コミュニティ活動助成金」（パルシステム千葉） この助成金は2001年から多くの地域活動団体に助成をおこなっています。公募から選考、助成金の交付、活動報告までの流れや、助成対象分野、助成金額などについて、基金の規則に基づいて運営しています。

○「コープみらい 暮らしと地域づくり助成」（コープみらい） 多岐にわたる分野での活動支援で千葉県内では53団体の応募があり、選考の結果14団体に助成をおこなっています。先日2020年度～2022年度の助成団体と組合員とのオンライン交流会を開催し、分散会ではエリアごとに情報交流などをおこないました。

○「子ども・子育て支援助成」（コープみらい） 生活困難家庭の子ども、子育て支援を目的に中央共同募金会との共同助成として実施。組合員から回収した未使用ハガキや切手からの資金を原資としています。

○エコロ福祉助成（生活クラブ千葉） 毎月組合員から集めた100円のうち20円をエコロ福祉基金として共同の力で暮らしやすい地域づくりのために使用しています。本助成は、1次審査会、組合員の意見を反映した組合員投票、公開プレゼンテーションなどを経て助成団体を決定します。助成後には組合員が団体を訪問し、活動状況を組合員に発信しています。

このほか日本生協連からも助成金の案内がありました。

参加者からは、「応募団体の申請書記入のフォローは？」「選考に漏れた団体との関係性づくりは？」「助成を通じて地域とのつながりがある？」「団体間の連携などにつながった事例はあるか？」などの質問や、「交流会の開催はいいと思った」

「組合員投票で意見が反映されるのはすごい」などの意見がでました。

2. 地域と関わる活動や、地域課題として認識している問題について

ちば住宅コープの大見専務理事より、地域の空き家問題に対して、今後は相続などで不動産を取得した場合の法務、税務を含めたワンストップの相談窓口として生活協同組合の立場から市民に寄り添ってくことを目指していきたいとの報告がありました。また、空き家を利用した事業活動についても各生協の助成金を紹介したいとのことでした。

3. 今年度の活動について、事務局より提案がありました。

第3回 地域と防災 災害弱者と避難所 福祉関係の職員、組合員も参加

第4回 千葉県内のフードバンクの状況について

第5回 振り返りと次年度に向けて

4. 生協からの活動報告

○パルシステム千葉 予備青果を、県内8団体に寄贈しています。また、寄贈先の状況や、地域の課題を学ぶためにセンター長とともに寄贈先を訪問しています。

「松戸DEつながるステーション」つどう de 6 の6 では、地域の方が気軽に立ち寄れる、日時と場所を固定した居場所づくりを進めています。「SDGs を活かしたコミュニティづくり」のガーデンづくりでは公園内の整備や花壇づくりをおこないました。

○コープみらい 「ゆずりばいちかわ」の学生服寄附回収に協力し、106点、の学生服を回収、寄付相当金額は14,600円となりました。コープみらいの子育て支援の取り組みについてというタイトルで、行政と連携した子育て支援（地域子育て支援拠点事業）や独自の子育て支援などについて、大東文化大学で講義をおこないました。また、千葉大学でも宅配事業や組合員活動について講義を行いました。今年度も生活困窮者支援と実施しているお米寄贈の取り組みで、新たに習志野、市原市社協と千葉県産米寄贈式を開催しました。

○生活クラブ 実行委員として参加している「食でつながる in ちばの会」主催の～食支援を通じて「こどもまんなか」を考える～シンポジウムを8月27日（日）に開催します。それぞれの地域で食支援とこどもまんなかをどう作るかを考える機会にします。社福）生活クラブが7月に児童養護施設「はぐくみの杜かしわ」を開設し。組合員周知の茶話会や内覧会をおこないました。

5. 今後の開催スケジュールについて

第3回実行委員会 9月後半週での開催調整をおこなう

第4回実行委員会 12月13日 13:30～

第5回実行委員会 2024年3月22日(金)13:30～15:30

2023年度 食・消費者委員会 横浜検疫所 輸入食品・検疫検査センター見学会 報告



日 時：2023年8月25日（金）

参加者：北村・神野・中村・熊谷（パルシステム千
（敬称略） 葉）、佐々木・照屋・高山・林（コープみら
い）、山本・今野・岩崎（なのはな生協）、
尼崎・佐久間（千葉県生協連）

千葉県生協連では食・消費者委員会の活動として、施設見学をおこなっています。今回は9月に移転を予定している横浜検疫所輸入食品・検疫検査センター（以後検査センター）を見学し13人の参加がありました。



近藤センター長と参加された皆さま

当日は、検査センターの近藤センター長に対応していただきました。始めに検査センターの概要について、明治28年「長浜検疫所」として設立され128年の歴史があること、主な業務として世界各国から輸入される食品の検査と海外から侵入する感染症の検査をおこなっていること、館内はコンタミ※の問題もあり部外者が簡単に入れないので見学は貴重な機会であること等を説明いただきました。

※コンタミネーションの略：コンタミネーションとは「混入」の意味

その後、館内を見学しましたが、館内にはセンシティブな情報があることで撮影は禁止されていました。

1階から、信頼性確保部門として、試験結果の信憑性を確保している業務をおこなっている部屋を見学し、その後、検査部門としておもちゃ検査、動物用医薬品検査、有害・有毒物質検査、遺伝子組換え食品検査の様子を見学しました。遺伝子組換え食品検査ではPCR検査室、試薬調整室、放射能測定室等、全ての部屋を区分けしてコンタミを防いでいるということでした。

2階では残留農薬の検査をおこなっていて、検体は全てバーコードを付けて管理され、粉碎から分析まで一連の流れで管理されていました。また検査機器の維持管理についても、日常的な点検をはじめ機器ごとに定められた保守点検を確実に実施することにより機器の性能を担保しているとのことでした。輸入食品の検査を行うために、機器の導入コストのほかに維持管理のためのランニングコストにも多額の費用がかかっていることを教えていただきました。

3階は微生物検査室となっていました。ペスト菌等を管理しているのでテロ対策特別措置法により一般の人は入ることができず、入口から観るだけとなりました。



近藤センター長からガイダンスを聴いている様子

次に登録有形文化財となっている旧長濱検疫所一号停留所を見学しました。ここは明治28年（1895年）に設立され、明治の面影を色濃く残す建造物となっていました。1度、関東大震災で倒壊しましたがすぐに建て直されたそうです。細菌学者である野口英世も長濱検疫所に勤務している時にペスト菌を検出し、一躍、世界に旅立つ出発の地となったそうです。



旧長濱検疫所一号停留所



資料館の説明を受けている様子



当時の談話室



当時の病室の再現

最後に質疑応答をおこない「検査している品目の年間計画について」「施設の移転計画について」「検査結果のタイミングについて」「検査結果の公開について」「過去の分析方法について」「家畜のエサの残留農薬について」「職員の検査体制について」「モニタリングの方法について」等の質問があり、近藤センター長にお応えいただきました。

9月から施設が移転するので、本日が最後の見学者となり、貴重な体験となりました。参加者からも「検疫所の内容を知るととても良い機会になった」などの感想をいただきました。

以上



ウクライナからの避難者支援プロジェクト 第12回「お茶しませんか」開催報告



千葉県生協連では県内の行政や諸団体とともに、ウクライナから避難されてきた方の支援「お茶しませんか」プロジェクトを1年間開催してきました。

8月26日に最後の『お茶しませんか』茶話会を開催し、ウクライナの方35人とスタッフ、協力者24人の総勢59人が参加しました。ゲームや縁日、ハーティちゃんと記念撮影、プロマジックショー、マツケンサンバなど盛り沢山のプログラムでウクライナの方を迎え入れました。いずれのプログラムとも参加された方々の元気な姿や笑顔であふれていました。また、各プログラムをとおして参加された方々とプロジェクトスタッフが和気あいあいとコミュニケーションをとる様子も印象的でした。



あんなおかめ、
こんなひよつとこ
(ゲーム 福笑い)



お見事！プロマジシャン橘さんの
マジックショー



ハーティちゃんと
ハイチーズ！



大盛り上がりのマツケンサンバ!! 「オレッ！」



最後にウクライナ国家をうたいました。
ウクライナの方だけでなく、スタッフも思わず涙が…

参加者からのメッセージ

このイベントは、日本人のウクライナに対するコミットメントと、私たち避難しているウクライナ人に対する素晴らしい支援を改めて証明するものでした。この企画のためにどれだけの準備作業が行われたか、主催者側がどれだけの努力とエネルギーを注いだか、想像に難くない！私は、彼らが私たちに与えてくれた温かさと気遣いを感じました。このような催しの一つひとつが、ウクライナにとってこの困難な時期を生き続ける助けとなり、私たちは不幸な目に遭っているのは一人ではない、日本と日本人は私たちと共にいるのだと信じる事ができるのです！このイベントは私を楽しませ、笑わせてくれた！とても興味深く、楽しかった！この時間は、問題や悲しみを忘れる。日本人は私たちのために心から喜んでくれて、私たちを楽しませようとしてくれていてと感じました！とても素敵でした！ウクライナの家族や友人たちに、日本人がどれだけ私たちのために尽くしてくれているかを伝えています！

日本に、そして皆さんの家族に、いつも平和がありますように！日本に栄光あれ！ウクライナに栄光あれ！

【お茶しませんかプロジェクト】2022.7.13～2023.8.26

参加団体：千葉県生活協同組合連合会 生活協同組合パルシステム千葉 生活協同組合コープみらい
生活クラブ生協千葉 なのはな生活協同組合 一社)千葉県労働者福祉協議会 社福)千葉
市社会福祉協議会 千葉県ユニセフ協会 フードバンクちば 千葉ロータリークラブ 千葉YMCA 個人有志
通訳ボランティア：のべ47名

協力：千葉県国際課 千葉市国際交流協会

本プログラムは、以下の助成金によりおこなわれました。

2022年度「日本財団ウクライナ避難民支援助成プログラム」「赤い羽根共同募金助成」

2023年度「日本財団ウクライナ避難民支援助成プログラム」

【消費者団体千葉県連絡会主催】

2023 年度幹事総会学習会

「電気料金の仕組みから電力エネルギーについて考える」



日 時：2023 年 8 月 22 日（火）10：00～12：00
会 場：千葉市文化センター 5 階 セミナー室
参 加：12 人（事務局含む）

概 要

8 月 22 日に消費者団体千葉県連絡会の学習会として「電気料金の仕組みから、電力エネルギーについて考える」をテーマに開催しました。今回は電気料金が高騰していることから、電気料金の仕組みから電力エネルギーについて考え、節電方法等も交流しました。

当日は酷暑の影響から参加人数は 8 団体 12 人の参加となりましたが、電気料金の検針票を見ながら交流をしたので、電気料金に対する理解が深まりました。また、クイズ形式で節電の工夫等も交流しました。

はじめに(株)地球クラブの江口さんから、「電気の正体とは?」「電気の仕組みは?」について説明がありました。次に電気が届くまでの話として発電、送配電、小売がそれぞれ別会社で運営していることについての話がありました。現在、日本の発電状況は調達の問題や使いやすさから、火力が全体の 76.6%を占めていて太陽光等の再生可能エネルギーはまだ 6.3%となっているそうです。また、電気料金について、再生可能エネルギー発電促進賦課金（再エネ賦課金）と燃料調整費について説明があり、このことが電気料金を複雑にしている要因であることが説明されました。この後、グループに分かれて実際の検針票を元に交流しました。エアコンや冷蔵庫等の節電方法等もクイズ形式で交流しました。参加者からは「燃料費調整単価等が電力会社によって異なることに



(株)地球クラブの江口さん

驚きました」「再生エネルギーの現状も知ることができて良かったです」等の感想をいただきました。



分散会の様子

以上

千葉県生活協同組合連合会組織概要

創 立 1949 年

会長理事 首藤 英里子

会 員 12 生協

準 会 員 2 生協

所 在 地 千葉市中央区中央 4-13-10

千葉県教育会館 5 階

千葉県生活協同組合連合会会員一覧

生活協同組合コープみらい	千葉県本部所在地 千葉市中央区新田町 36-15 HP アドレス https://mirai.coopnet.or.jp/
生活協同組合パルシステム千葉	所在地：船橋市本町 2-1-1 船橋スクエア 21 4F HP アドレス https://www.palsystem-chiba.coop/
生活クラブ生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス https://chiba.seikatsuclub.coop/
なのはな生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区長沼原町 678-2 HP アドレス https://nanohana-coop.net/
千葉県庁生活協同組合	所在地：千葉市中央区市場町 1-1 HP アドレス http://www.chibakenseikyo.or.jp/
千葉大学生生活協同組合	所在地：千葉市稲毛区弥生町 1-33 HP アドレス http://www.univcoop.jp/chiba-u/
東邦大学消費生活協同組合	所在地：船橋市三山 2-2-1 HP アドレス https://www.univcoop.jp/toho/
千葉商科大学生生活協同組合	所在地：市川市国府台 1-3-1 HP アドレス http://www.univcoop.jp/cuc/
千葉県学校生活協同組合	所在地：千葉市中央区中央 4-13-10 千葉県教育会館新館 6F HP アドレス https://www.jcgsk.com/
生活協同組合ちば住宅コープ	所在地：船橋市前原西 2-12-7 津田沼第一生命ビルディング 6F HP アドレス http://www.cjcoop.or.jp/
千葉県高齢者生活協同組合	所在地：千葉市美浜区真砂 5-21-12 HP アドレス http://chiba-koureiyou.sakura.ne.jp/
千葉県勤労者共済生活協同組合	所在地：千葉市中央区弁天 1-17-1 HP アドレス http://www.zenrosai.coop/
〈準会員〉東都生活協同組合	所在地：東京都世田谷区船橋 5-28-6 吉崎ビル 4 F HP アドレス http://www.tohto-coop.or.jp/
〈準会員〉常総生活協同組合	所在地：茨城県守谷市本町 281 HP アドレス https://www.coop-joso.jp/



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



チーバくん
ちばSDGs

ホームページを4月1日に
リニューアルしました。



千葉県生活協同組合連合会

千葉市中央区中央 4-13-10 (千葉県教育会館 5F)

tel. 043-224-7753 fax. 043-225-3459

<http://chiba-kenren.jp/>